

# 令和3年度 全国研修会のご案内

会 期 令和3年7月17日(土)

開催形式 Web開催

申込期間 令和3年5月17日(月)～6月21日(月)

参加費 日本診療情報管理士会 正会員・賛助会員 2,000円  
通信教育受講中・指定校在学中の方 2,000円  
非会員 5,000円

振込期限 令和3年6月23日(水)

※お申し込み後、参加費納入をもって参加確定となります。期日までに入金確認がとれない場合はキャンセル扱いとなります。

録画配信 令和3年7月26日(月)～8月25日(水)

※当会員対象の録画配信です。視聴には参加申込みおよび参加費の納入が必要です。

## テーマ「変化に対応できる診療情報管理士を目指して ～post/with コロナ時代の診療情報管理を切り拓く～」

### ◆プログラム

時 間	内 容
	総合司会 海野 博資 (岡山旭東病院) 塩塚 康子 (福岡県済生会八幡総合病院)
13:00～13:10	開会挨拶 阿南 誠 (日本診療情報管理士会 会長) 来賓挨拶 末永 裕之 (日本診療情報管理学会 理事長)
13:10～14:10	講演Ⅰ「感染症の理解を深める～知っておきたい臨床の知識～」 講 師/忽那 賢志 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室 医長 国際診療部副部長 兼任) 座 長/須貝 和則 (国立国際医療研究センター 医事管理課 課長) ※診療情報管理士が理解しておきたい感染症治療等の知識について、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、臨床の側面から解説する。
14:10～14:20	休 憩
14:20～15:20	講演Ⅱ「新型コロナウイルス感染症の現状と課題－何をすべきか」 講 師/小坂 健 (東北大学大学院 歯学研究科 副研究科長 スマート・エイジング学際重点研究センター 災害科学国際研究所 教授 医師、厚生労働省 新型コロナ対策クラスター対策班 東京 iCDC アドバイザリーボード) 座 長/桜澤 邦男 (東北大学大学院 医学系研究科・医学部 公共健康医学講座 医療管理学分野 講師) ※困難を極める新型コロナウイルス感染症への対応と組織のあり方について学び、日常業務を力強く改善してゆくための意識を養う。

15 : 20～15 : 40	休 憩
15 : 40～17 : 00	<p><b>シンポジウムⅠ「新型コロナウイルス感染症への対応」</b></p> <p>座 長／島田 裕子（国立病院機構大阪南医療センター 事務部企画課 診療情報管理専門職）</p> <p>シンポジスト／</p> <p>荒井 康夫（北里大学病院 医療支援部 診療情報管理室 特別専門職） 須貝 和則（国立国際医療研究センター 医事管理課 課長） 細川 敬貴（千葉大学医学部附属病院 経営企画課 課長）</p> <p>※未知の感染症の世界的流行から 1 年が経過したが、今も医療提供体制に大きな影響を及ぼしている。医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応について、診療情報管理士の視点から改めて考える機会としたい。</p> <hr/> <p><b>シンポジウムⅡ「移り行く、そして求められる診療情報管理士の在り方」</b></p> <p>座 長／阿南 誠（川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療情報学科 学科長・教授）</p> <p>シンポジスト／</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門職としてのポジショニング～実務の変化に呼応して～ 森藤 祐史（大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 診療情報管理室 主任）</li> <li>2. 拡大する診療情報の利活用～経営管理に携わる診療情報管理士の観点から～ 初山 貴（北海道大学病院 経営企画課 経営分析係 係長）</li> <li>3. 診療情報管理士のフレームを超える ～データ活用による臨床研究への計画立案・参加～ 平岡紀代美（国立病院機構姫路医療センター 診療部 医療情報管理室 診療情報管理係長）</li> <li>4. 診療情報管理士育成における学校教育 高橋 文（北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科 学科長 教授）</li> </ol> <p>※時代の変化とともに診療情報管理士の業務が多様化し、それに伴い育成内容の変化も余儀なくされてきた。各部門における実務者の、あるいは教育現場の立場から、より多角的な視点で「診療情報管理士の今」を見つめなおす。</p>
17 : 00～	閉会挨拶 柏倉 夏枝（日本診療情報管理士会 教育担当副会長）